

国王尚真の、皇帝即位の慶賀のため王舅亞嘉尼施等を遣わす

符文(一五〇六、九、二)

琉球国中山王尚真、慶賀等の事の為にす。

先に、正議大夫等の官の程璉等を差つかわせるに、京に赴き、朝貢の事畢りて福建に回至し、時に皇上の宝位に嗣登するを聞くに因り、国に到りて報知す。恭しく盛事に逢えば、合ま行に進賀すべし。今、特に王舅亞嘉尼施を遣わし、正議大夫鄭玖・長史蔡賓等と共に、表文一通を齎捧せしむ。智字号海船一隻に坐駕して全光金鞘金起沙魚皮紋靶腰刀二把・金結束酒金竜紋鞘金起沙魚皮紋靶腰刀二把・金結束黒漆鞘沙魚皮靶腰刀二把・鍍金銅結束紅漆靶鞘刀二十把・鍍金銅結束紅漆鞘沙魚皮靶腰刀一十二把・鍍金銅結束螺鈿鞘線紮靶腰刀八把・象牙一十四条共に重さ三百斤・檀香二百斤・丁香二百斤を装載し、京に赴き御前に進賀せしむ。其の細嫩漂白土夏布二十四・細嫩生土夏布二十四・金粉匣一对共に重さ八両・銀粉匣一对共に重さ一十両・丁香二百斤・檀香二百斤・木香一百斤・束香一百斤は中宮殿下に進賀し、其の硫黄二万斤・馬一十五匹の進貢は仍お礼部に赴き告稟して進取せしむる外、茲の諭遣を承くれば、途に在りて遲滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給に至るべき者なり。

今開す 赴京の

王舅一員 亞嘉尼施

長史一員 蔡賓

使者三員 尤太永 雅麻度 馬寧久

都通事一員 梁裕 共に人伴三十四名

国王附搭の蘇木三千斤・胡椒一千斤・番錫五百斤

正徳元年(一五〇六)九月初二日

右の符文は長史蔡賓・都通事梁裕等に付し、此れに准ぜしむ慶賀等の事の為にす 符文

注*この進貢については『明実録』正徳二年四月庚辰の条に記事がある。

1-25-02

国王尚真の、進貢のため正議大夫鄭玖等を遣わす符文

(一五〇六、九、二)

琉球国中山王尚真、進貢等の事の為にす。

今、特に王舅亞嘉尼施を遣わし、正議大夫鄭玖・長史蔡賓等と共に、表文一通を齎しむ。仁一字号海船一隻に坐駕して硫黄三千斤・馬四匹を装載し、京に赴き進貢し、仍お礼部に赴き告稟して進取せしむる外、茲の諭遣を承くれば、途に在りて遲滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給に至るべき者